

【草木染料用・均染剤】

綿・麻の草木染めは、絹と違いそのままでは非常に染まりにくく。
カチオン化という染まりやすい状態に改質します。（草木染料用・カチオン化剤を使用）

改質後、染色濃度は非常にアップしますが、染め足が速くなります。
この染め足を抑えるが本製品【草木染料用・均染剤】です。

丁寧に手染めすれば基本、均染剤なしでもムラなく糸は染まりますが、
均染剤を入れると染め足を鈍らし、ムラがでにくくなります。

冬期、寒くなりすぎると白色のペースト状（白濁）になります。
粘度が上がり、使用しにくくなるので、その場合は少し温めてご使用ください。

【均染剤の使用方法】

均染剤の量 【水 1ℓ のに対して 1g】

1. 地入れ

カチオン化した糸をお湯に浸す。※目安 40℃

2. 染色（色素の抽出の記載は省略）

常温の染液に均等剤を入れる。

染液と均等剤を良くなじませる。

60℃→80℃（約 60℃から地入れした糸を入れ動かし染める）

80℃になってから 20分 染色する。

※その後の作業は、当店の資料【草木染・絹糸の染色方法の基礎】と同じ。